

～活動の報告と計画～

研修委員会

委員長 桜木こどもの森 岡田博次

今年度これまでに左記の研修会が終了して  
います。主な講師等のご紹介です。

●所長研修会（六月二十日）  
会場 グランシップ（静岡）  
講師 川田学氏（北海道大学教授）

●育児相談研修会（八月一日）  
会場 アクトシティ（浜松）  
講師 有沢孝治氏（東海大学教授）

●民間園長研修会（十一月二十三・二十四日）  
会場 アクトシティ（浜松）  
主な講師 橋本恵子氏（ことのはスクエア）  
堀昌浩氏（認定こども園さくら園長）

●施設長研修会（十二月十九日）  
会場 グランシップ（静岡）  
主な講師 井上眞理子氏（洗足こども短期  
大学教授）  
井桁容子氏（保育SOWラボ代  
表）

今年度内の今後の計画は次の通りです。  
○新規採用予定職員研修会（二月）  
西部支部（三ヶ日青年の家／十二・十三日）  
東・中部支部（エスプラットフジスパーク  
／十六・十七日）

予算対策委員

委員長 中里保育園 青野貴芳

本年度の県への要望事項は、先号でお伝え  
した通りです。

先号に記した通り、一歳児の配置改善加算  
の開始に伴い県や市町の補助が減額・廃止さ  
れないか懸念されます。

すなわち、県の補助金によって五対一の配  
置基準が実現されていたので、そのための原  
資が国から支給されるなら、県の補助金は不  
要と判断される恐れがあります。

しかし、五対一といえど不十分な基準であ  
ることに変わりなく、不十分な基準を補助す  
るといふ補助金の意義・必要性は依然として  
失われていません。

そのため、県保連は県に対して、例年の要望  
以外に、県議会議員の方々を通じて、県の補  
助事業である「乳幼児保育事業」の継続・増  
額を緊急要望として提出しました。

その結果は、議会の決議を経てからでない  
と確かなものとはなりません。県保連とし  
てできることはしたつもりです。

保育所等に対する補助の減額は、国が掲げる  
「こどもまんなか社会」の理念に逆行するも  
のですし、なによりも、子どもの最善の利益  
を損なうものです。

県の方針を覆すことは容易ではありません  
が、道理は明白に私たちにありと考えますの  
で、今後も粘り強く要望を重ねていきます。

認定こども園特別委員会

委員長 慈恩こども園 土山龍之

令和七年六月の保育連合会加盟園数は  
六四一園、令和七年四月の県内の認定こども  
園数は三九六園です。県内の認定こども園全  
てが保育連合会に所属しているわけではあり  
ませんが、認定こども園へ移行している園は  
毎年増えています。

当委員会では、九月末に県保連全加盟園対  
象に「認定こども園 移行調査」を行いまし  
た。ご協力をいただき、ありがとうございます。  
現在五五六園からの回答データを集計  
し、委員会の中で調査分析している最中です。  
次年度の総会までに皆さんからいただいたデ  
ータを精査し、認定こども園固有の問題や課  
題の抽出などを行い分析データの公表をした  
いと考えています。今後は県保育連合会が所  
属している上部団体との連携や認定こども園  
他団体との協力体制、また他の委員会との連  
携についても協議を重ねていく予定です。ま  
た、認定こども園へ移行済みか、検討中の園  
への支援、移行する予定のない園を含めた全  
加盟園へ向け、情報を提供していく予定です。

キャリアアップ委員会

委員長 ルンビニあゆみ園 野中 徹

令和七年度の静岡県保育士等キャリアアッ  
プ研修会も事業計画通りすべての研修日程を  
無事終了することができました。

研修を続けていくと、まず四分野を達成するため、ベテラン、中堅、若手へ受講者対象者が変わっていくと予想されていましたが、今年度からは管理職や主任・主幹などの姿も見られました。対象者となったからではなく、質の向上のためにも、管理職や主任・主幹などより多くの方たちに研修を受けていただきたいと思えます。

残念ながら、今年度はeラーニングの申込者のみ定員を下回ってしまいました。それでも全ての参加型の研修は定員を上回る申し込みが続いています。一人でも多くの方に希望分野の受講ができるよう、申し込み後にキャンセルするなどの無理な研修計画を立てないようにお願いいたします。

質の高い保育・教育を提供するために、受講される皆様のキャリアアップが図れるような研修提供を、今後も協議検討を重ね実施できればと思います。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

### 保育者養成委員会

委員長 野中こども園 中村章啓

全国各地で短期大学・専門学校を中心に、保育士養成施設が学生募集を停止する動きが加速しています。四年制大学においても、保育士養成課程の定員を見直したり、学部・学科を再編する動きがあります。その背景には少子化の進行に加え、職業選択の対象として、保育士の人気に陰りが見えていることがあり

ます。県内においても、定員充足率の低下が顕著になってきており、近い将来、深刻な保育士不足が生じる恐れがあります。

保育者養成委員会は、次の二点を中心に、保育士・保育所等がこれまで以上に魅力的な職種・職場として認知されることを目指して活動していきます。

◆保育実習の質の向上を通じた養成課程への協力と採用時スマッチの低減

◆養成施設と保育所等の対話機会の創出による、より密接な関係構築

当面は、七月に実施した養成校との意見交換会や、県保育士会と連動したリーダーセミナーで収集した情報を基に、今後の取り組みを検討していきます。

### 海外交流委員会

委員長 認定こども園 原町保育園  
鶴谷由美子

今年度の海外研修は、十一月八日から十二日までの五日間「タイ・バンコク」にあるドゥアン・プラティープ財団が運営する幼児施設と公立施設のシリカン幼稚園を訪問させていただきました。

また、施設訪問とともにスラムの細い路地を歩いたり、歴史的寺院と市場が共存している街並みや水上で暮らす方々の生活などフィールドワークプログラムの中で日本とは違う文化や生活にも触れることができました。

事後報告会では今回の研修内容をドキュメ

ンテーションにしたところ、園の子どもたちが非常に興味深く見ていたり話を聴きたがったこと、改めて日本の子どもたちの環境が豊かであることを感じたこと、また海外研修に参加して違う国の保育や文化に触れたなど、参加した皆さんが生き生きと報告する姿を見て実りある研修だったと感じました。

さて、来年度はオーストラリアのプリズベングールドコースト地区での保育施設訪問に決まりました。遊びを通じた個人の興味や自主性を大切にしており、野外遊び・少人数制での丁寧な保育が特徴です。三月から募集開始ですのでぜひ多くの皆様にご参加いただきますようお願いいたします。

### 少子化等問題検討委員会

委員長 認定こども園 原町保育園  
鶴谷由美子

毎年静岡県の皆様に子育て支援への関心と理解を求める啓発活動を行った場合の経費（二事業五万円）を助成する「子育て啓発活動事業助成金制度」を実施しています。今現在東部と西部からの申し込みがあります。今後も助成金実施を継続していきますのでこの助成金を活用して地域の子育て活動の展開を更に推進していただきたいと思えます。

本年度も啓発品として新しいほんわかデザイアのクリアファイルと付箋セット、ピンバッチなどあります。啓発活動の財源となりますので協力金へのご支援よろしくお願いいたします。